

逃げ遅れゼロへ！



警戒レベル
4
で全員避難!!

この教訓を踏まえ、住民が避難情報等の意味を直観的に理解できるように、避難情報や防災気象情報を5段階に分けて避難行動を強く促す「警戒レベル」の運用が始まりました。

西日本を中心に多くの被害を受けた「平成30年7月豪雨」では、避難勧告が発令されるなど、避難行動を促す情報が発信されましたが、一部ではその危険性が十分に理解されず、避難が遅れる結果となりました。

▼警戒レベルを用いた避難情報が発令されます

・テレビやラジオなどで最新の情報を収集しましょう。
・防災行政無線等で町からの防災情報を正確に把握し、的確な避難行動をとりましょう。

POINT 2
最新情報の収集を心がける

避難情報等

防災気象情報(例)

警戒レベル	避難行動等	避難情報等	警戒レベル相当情報(例)
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 [市町村が発令]	警戒レベル5相当情報 ・氾濫発生情報 ・大雨特別警戒 等
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) [市町村が発令]	警戒レベル4相当情報 ・氾濫危険情報 ・土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等 避難開始 [市町村が発令]	警戒レベル3相当情報 ・氾濫警戒情報 ・洪水警戒 等
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 [気象庁が発表]	これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 [気象庁が発表]	(国土交通省・気象庁・都道府県が発表)

※各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

- 警戒レベル5では、既に災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。
- 警戒レベル3や警戒レベル4で、地域のみなさんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

平成23年3月11日



▲ 栗山川をさかのぼる津波 (北清水地先)



▲ 浸水した町内道路

観測所	芝崎 水位観測所	
氾濫危険 (特別警戒)	水位	3.10m
氾濫注意 (警戒)		2.50m
水防団待機 (通報)		2.00m

(平成30年度千葉県水防計画より)

▼ 洪水予報でお知らせします
千葉県では、芝崎水位観測所で、栗山川の氾濫発生危険性の目安となる基準水位を設定し、水位情報の周知を行っています。